


STEAM JAPAN RESEARCH

教育に関する調査 

調査設計

調査タイトル	『子供の教育に関する調査』
性別	男女
年齢	25歳～69歳
地域	首都圏(東京都 神奈川県 埼玉県 千葉県)
条件	5～15歳の子どもと同居している方
サンプル数	全体:7,119人 STEAM教育実施者: 275人
調査手法	WEB調査
調査期間	2020年8月

調査項目

- Q あなたの性別をお知らせください。
- Q あなたの年齢をお知らせください。
- Q あなたのお住まいの都道府県をお知らせください。
- Q あなたの最終学歴をお答えください。(お答えは1つ)
- Q あなたの職業をお答えください。(お答えは1つ)
- Q 個人年収 SC3S1 あなたの個人年収とご家庭の世帯年収をお答えください。(お答えは1つ)
- Q 世帯年収 SC3S2 あなたの個人年収とご家庭の世帯年収をお答えください。(お答えは1つ)
- Q あなたは現在、同居しているお子様がいらっしゃいますか。(お答えは1つ)
- Q 同居しているお子様の性別と年齢をお答えください。(お答えはいくつでも)
- Q あなたは現在の日本の教育に対する不安がありますか。(お答えは1つ)
- Q 現在の日本の教育に不安がある方にお聞きます。あなたが不安に感じていることをお答えください。(お答えはいくつでも)
- Q あなたが子育て・教育をする上で欲しい情報をお答えください。(お答えはいくつでも)
- Q あなたが子育て・教育をする上で重視していることをお答えください。(お答えはいくつでも)
- Q 以下のことを子育て・教育で重視している方にお聞きます。重視していることのためになにか取り組んでいることはありますか。(お答えは1つ)
- Q 以下のことを子育て・教育で重視している方にお聞きます。重視していることのために取り組んでいることをお答えください。(お答えはいくつでも)
- Q 子育て・教育に関して、学校教育以外 学費以外 にかけてもいいと思う費用を月額でお答えください。(お答えは1つ)
- Q 今後子どもに通わせたいと思う習い事や教育をお答えください。(お答えはいくつでも)
- Q あなたは『STEAM 教育』を知っていますか。(お答えは1つ)
- Q 『STEAM 教育』についての説明文を読んで、あなたの興味についてお答えください。(お答えは1つ)
- Q 科学 (Science)]SC16S1 『STEAM 教育』の各分野に関して、それぞれどの程度興味があるかをお答えください。(お答えはそれぞれ1つ)
- Q 技術 (Technology)]SC16S2 『STEAM 教育』の各分野に関して、それぞれどの程度興味があるかをお答えください。(お答えはそれぞれ1つ)
- Q 工学 (Engineering)]SC16S3 『STEAM 教育』の各分野に関して、それぞれどの程度興味があるかをお答えください。(お答えはそれぞれ1つ)
- Q 芸術・リベラルアーツ (Arts)]SC16S4 『STEAM 教育』の各分野に関して、それぞれどの程度興味があるかをお答えください。(お答えはそれぞれ1つ)
- Q 数学 (Mathematics)]SC16S5 『STEAM 教育』の各分野に関して、それぞれどの程度興味があるかをお答えください。(お答えはそれぞれ1つ)
- Q 『STEAM 教育』は子どもの将来にとって必要な教育だと思いますか。(お答えは1つ)
- Q 現在の学校教育で『STEAM 教育』が十分にできていると思いますか。(お答えは1つ)
- Q あなたが STEAM 教育をする上で大切にしていることをお答えください。(お答えはいくつでも)
- Q あなたが STEAM 教育を実施する上で困っていることをお答えください。(お答えはいくつでも)
- Q 日本の教育に STEAM 教育を普及させるために必要だと思うことをお答えください。(お答えはいくつでも)
- Q あなたが日本の学校教育で現在よりも必要だと思うことをお答えください。(お答えはいくつでも)

調査サマリー

調査サマリー

親世代の日本の教育への意識

- 親世代の4人に3人(75%)が現在の日本の教育に不安を持っている
- そうした人々が不安に思っているのは「先の見えない不透明さ」がトップに来ており、漠然とした不安を抱えていることが読み取れる
- 教育について求める情報については、「他の家庭での教育方法」「おすすめの学習塾や教育関連施設」「地元の学校の治安」が上位となる

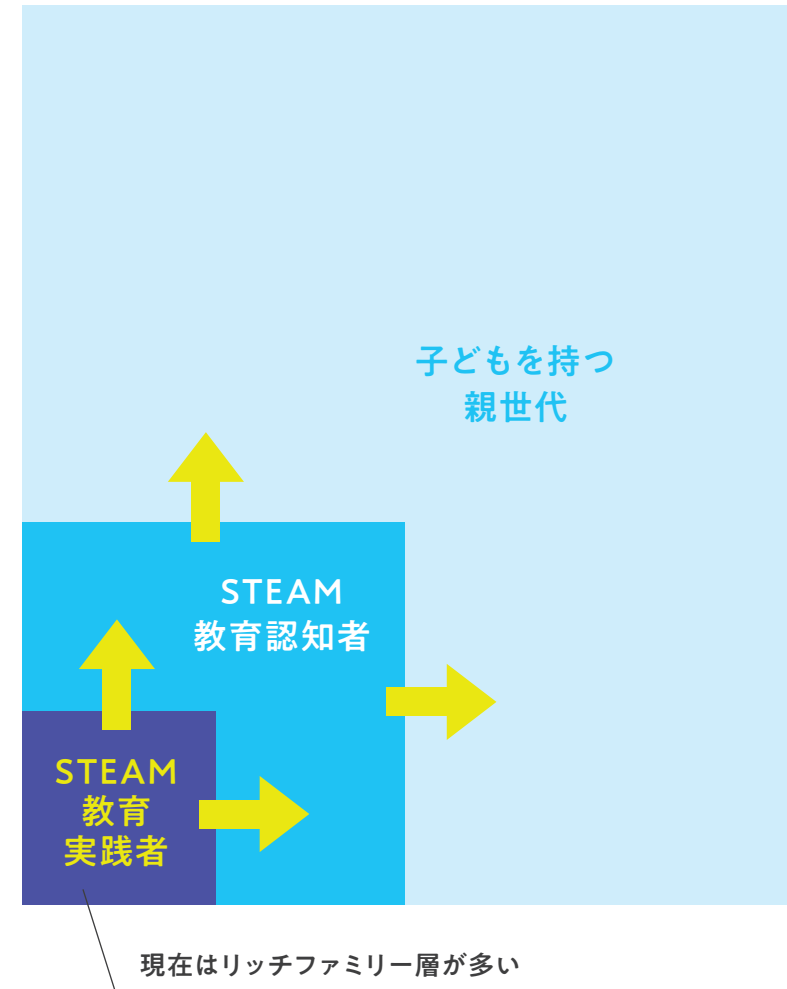
STEAM教育について

- 認知度や実践度はまだまだ低いですが、内容を理解すると興味関心のスコアが大きく高まる。
- リッチファミリーと言えるような一部の層では日本の教育に対する課題意識がより明確で、教育費用にける金額も相対的に高い上、実際にSTEAM教育に取り組み出している

調査サマリー

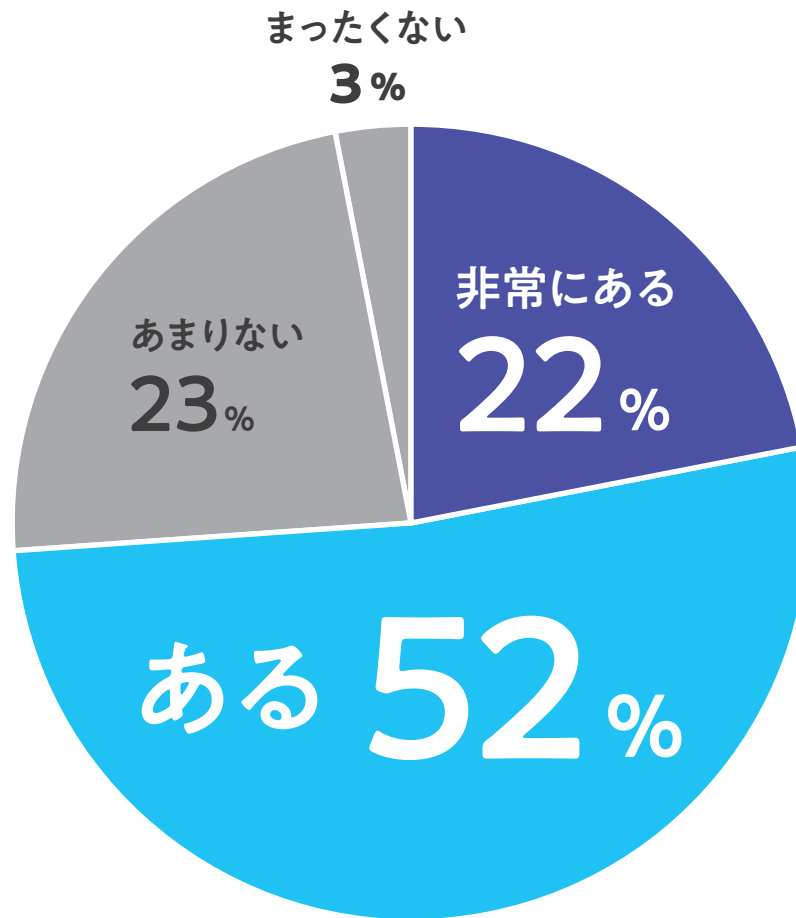
Barbara Pool 社の考え

- 子どもを持つ親世代は多かれ少なかれ、現在の日本の教育に不安を抱えていることが数字でも明らかになった
- その不安に対するソリューションの一つであるSTEAM教育の認知度にはまだまだ課題がある反面、理解さえ得られれば「子どもの教育に必要」という共感も得られる結果となった
- 明確な課題意識を持ち、STEAM教育実践者も多いリッチファミリー層に加え、今回調査対象とした全ての親世代において、認知度を高め、実践者を増やすことを活動指針としたい



調査詳細 | 全体

Q. あなたは現在の日本の教育に対する不安はありますか。



全体の

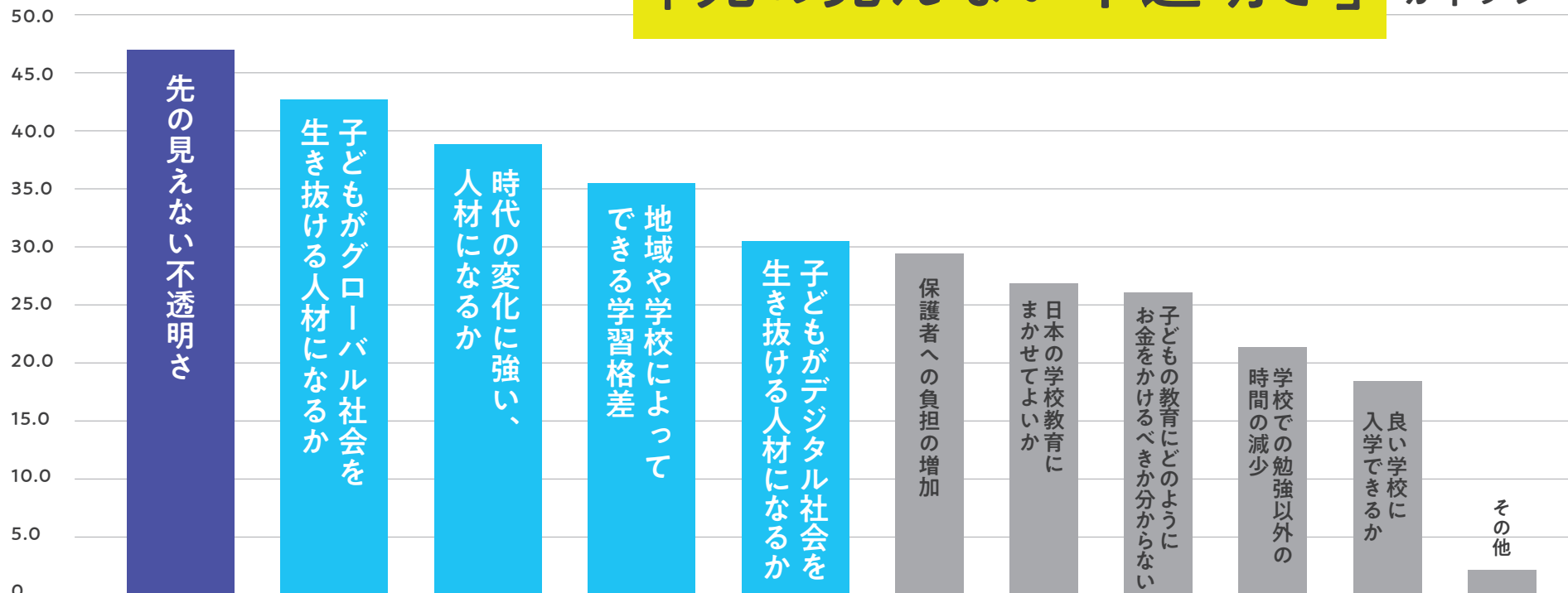
75% が

日本の教育を不安視

親世代の4人に3人（75%）が現在の日本の教育に不安を持っている

Q. 現在の日本の教育に不安がある方にお聞きします。
あなたが不安に感じていることをお答えください。

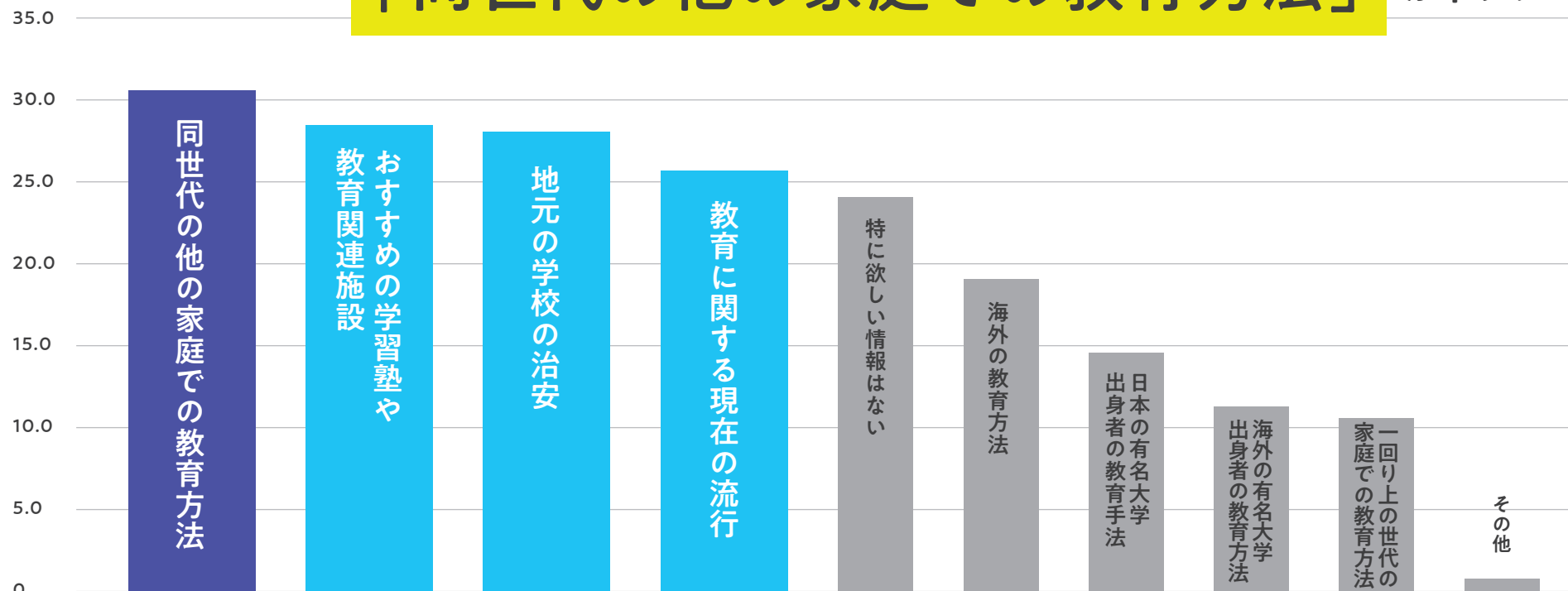
「先の見えない不透明さ」がトップ



そうした人々が不安に思っているのは「先の見えない不透明さ」がトップに来ており、漠然とした不安を抱えていることが読み取れる。
また、グローバル化や時代の変化への対応に対する不安もあるようだ。

Q. あなたが子育て・教育をする上で欲しい情報をお答えください。

「同世代の他の家庭での教育方法」がトップ



求める情報についても、「他の家庭での教育方法」「おすすめの学習塾や教育関連施設」「地元の学校の治安」が上位に来ている。

全体の回答傾向と違いが見られた特徴的なセグメント

今回の調査ではじめて明らかになった特徴を
全体との比較の中でお伝えします。

今回調査の結果での一つの特徴は、
世帯年収1,000万円以上の層の回答傾向に、全体と比較して差異が見られたことだ。

ここでは、便宜的に **「リッチファミリー」** と呼びたい。



リッチファミリー

世帯年収:1,000万円以上

共働き

4年生大学卒業

都内在住

会社員

月額教育費に掛ける金額は20,000円以上が約65%

日本の教育に対して77%が不安

Q. 現在の日本の教育に不安がある方にお聞きします。
あなたが不安に感じていることをお答えください。

子どもがグローバル社会を
生き抜ける人材になるか

1.2倍

リッチファミリー

52.1% > 全体 43.2%

時代の変化に強い、
人材になるか

1.15倍

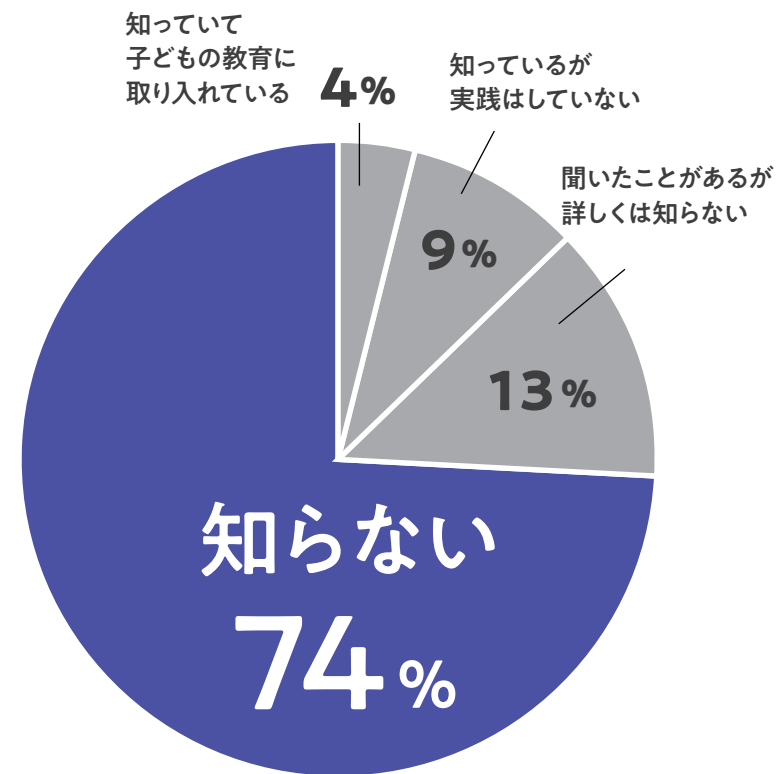
リッチファミリー

44.1% > 全体 39.0%

不安に感じていることの内容では、「先の見えない不透明さ」ではなく、「子どもがグローバル社会を生き抜ける人材になるか」がトップになる。加えて、「時代の変化に強い、人材になるか」や「日本の学校教育にまかせてよいか」のスコアが全体と比較して高くなっている。

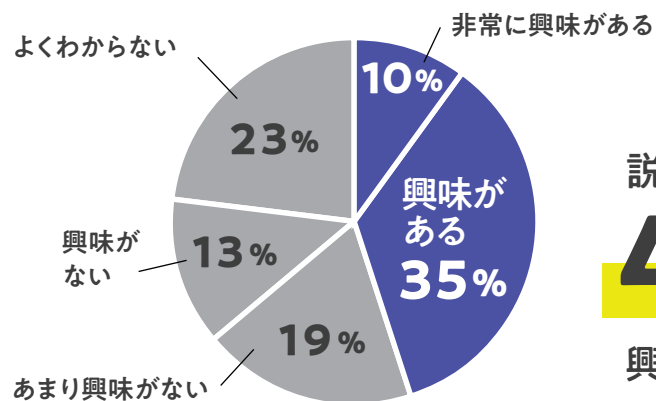
Q. あなたは『STEAM教育』を知っていますか。

認知者は **26%**



全体の **74%** がまだ知らない状態

Q. 『STEAM教育』についての説明文を読んで、あなたの興味についてお答えください。

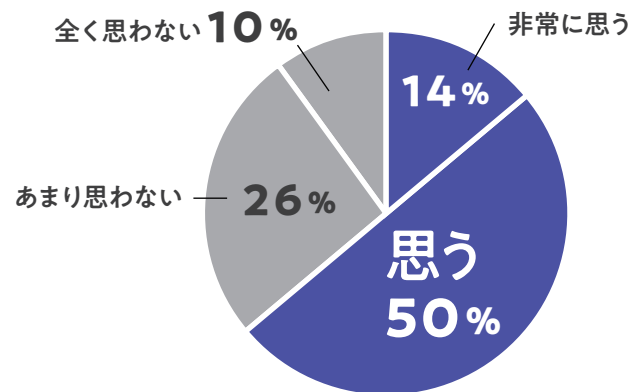


説明文提示後、
45% が
興味関心を示す



説明文提示

Q. 『STEAM教育』は子どもの将来にとって必要な教育だと思いますか。



説明文提示後、
64% が
子供の教育に必要な

認知度や実践度はまだまだ低いですが、内容を理解すると興味関心のスコアが大きく高まる。